



医療連携室 TEL &amp; FAX 03-3364-0366

## 乳腺外来の紹介

外科医長

柴崎 正幸



乳癌は日本でも欧米に追従し患者数が増加しており社会のニーズが高まっているため、当院でも重点疾患と位置づけ診療にあたっています。当院の検診センターでは年間約 5,000 人の乳癌検診をおこなっております。最近では厚生労働省の指針をうけ、マンモグラフィーや超音波などの画像診断を併用した検診をおこなっており、早期の乳癌が数多く発見されています。

こうした乳癌検診の実績をもとに乳腺外科では微小乳癌の診断から外科手術、術後補助療法、術後経過観察に至るまで乳癌の治療に必要な一貫した診療体制を整えております。また乳癌には手術のみではなく、乳房温存療法時の放射線治療や内分泌療法、再発の可能性が高いと考えられる患者様への抗がん剤を用いた化学療法など幅広い総合的な診療能力が必要であり、当院の総合病院としての強みを発揮できる疾患と考えています。当院はマンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定の読影医師と撮影技師、日本超音波医学会認定の医師、臨床検査技師のいる施設です。

乳癌の治療は予後因子についての詳しい研究や分子標的薬などの新規抗がん剤の開発により最近数年間で劇的に変化しています。これらの成果を踏まえ当院でも治療ストラテジーを常に update し、患者様に最善の治療を提供するように努めています。また乳癌は病期、組織所見、ホルモンレセプターの有無、HER2 過剰発現の有無等により治療の選択肢が複数存在し、これらのなかから患者様自身が自分の治療を選ぶ時代になっています。このため正確で、分かりやすい情報の提示が必須であり、きめ細かなインフォームドコンセントが重要になっております。当院ではこれらを乳腺外科医が担当し、患者様の満足度を高める努力を行っています。

乳腺外科では、乳がんはもとより乳腺炎、乳輪下膿瘍(乳輪下に繰り返し膿瘍をひきおこす病気です)、乳管異常分泌等の診療をおこなっています。乳房に異常を感じる患者様がいらっしゃいましたら、気軽に当院乳腺外科を利用してください。

乳腺外科では、月曜日から金曜日の午前中に診療を行っています。金曜午後には乳腺外来をおこなっています。完全予約制ですのであらかじめ医療連携室もしくは乳腺外科外来への電話予約をお願いいたします。

病院代表電話番号 03-3364-0251

乳腺外科内線 2120

